

公益社団法人

福岡県作業療法協会会報

第119号 平成27年4月15日発行

(事務局)

〒802-0044 北九州市小倉北区熊本1丁目9-1 ONE OFF第2ビル101号

TEL 093-952-7587 発行責任者 志井田 太一 編集責任者 許山 勝弘

ホームページアドレス : <http://www.fuku-ot.org/>



特集： 遊びを通じた関係発達への援助

～作業療法の観点から～ 後編

目次

巻頭言： 「“地域包括ケアシステムと作業療法”」 公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田太一	・・・1
会長行動	・・・1
特集： 遊びを通じた関係発達への援助 ～作業療法の観点から～後編 大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻 原義晴 北山淳 福本倫之 南征吾	・・・2
理事会議事録	・・・7
定期社員総会議事録	・・・10
各部・委員会からのお知らせ	・・・11
Occupation： 医療法人福翠会 高山病院 矢野典子	・・・16
リレーエッセイ： 医療法人社団翠会 八幡厚生病院 藤川 悠子 やまびこ学園 佐藤 美奈	・・・17
会員動向調査	・・・20



巻頭言 「“地域包括ケアシステムと作業療法”」

公益社団法人 福岡県作業療法協会 会長 志井田太一

「地域包括ケアシステム」の構築については、2025年に向けた団塊世代への対策が前面に立って話が進められているように見えますが、根本には「人口の減少」、「少子高齢化社会」、「就業年齢人口の減少」など人口動態の大きな変化に対して、これからの社会をどのように構築していくかという大きな課題が見えてきたような気がします。

これからの社会は自助や互助が基盤になると予想されますが、戦後の全体主義から、次第に個人主義が浸透し、消費社会が出来上がり、過去の右肩上がりの経済の影響を残したままの今の世の中では今さら質素倹約や増税（互助の一部と考えられるが・・・）は、なじまないのかもしれませんが、そうであれば、新しい「互助」の形を考えたり、就業年齢人口の考え方を変えたりと、国民一人ひとりが知恵を出し合って新しい社会作りに取り組みなければならない時期が到来したと思います。

以上のように考えると「地域ケア会議での助言者」や、「介護予防・生活支援総合事業への参画」は、その方が「やりたいこと」を見つけるお手伝いと、それを実現するために「できること」を自助、互助、共助、公助を総動員して増やしていくことであり、作業療法の原点に繋がっているように感じます。今まで病院や施設、利用者のご自宅で行ってきたことを、地域という場に移して作業療法を提供することと考えてみてはいかがでしょうか。例えば、「やる気」を引き出す活動として「人と出会うこと」を設定し、そのためのサロンや趣味の教室の運営など、今まで病院や施設で培ってきた作業療法のノウハウを、地域づくりに活かすことは考えられないでしょうか。

一方、実際に地域づくりに参加したことがある人は、一つひとつの事業遂行が万事うまくいという訳ではないことも経験してきたことと思います。様々な価値観をもった地域住民が、同じ目標に向かって進むようになるにはどうすればよいか、限られた財源をどのように循環させればよいか、多くの住民を地域の活動の中に誘い出すにはどうすればよいかなど、長期にわたって粘り強く考え、行動していくしかないと思います。

以上、これからの地域づくりには、リハビリテーションの理念、作業療法の理念も必要となるのではないかと考えています。作業療法を愛し、深く追求しようとする姿勢を、さらにダイナミックな地域づくりにも広げ、市町村の事業へ積極的に参画していきましょう。

会長行動（平成27年1月～3月）

1. 16. 福岡県PT・OT・ST合同役員会 出席
場所：麻生リハビリテーション大学校
1. 28. 北九州市すこやか住宅推進協議会 建築・福祉情報交換会 出席
場所：小倉リーセントホテル
2. 2. 平成26年度第7回福岡県作業療法協会 理事会 出席
場所：らそうむスポーツガーデン
2. 7. 都道府県作業療法士会連絡協議会九州支部会 出席
8. 九州作業療法士会会長会合同研修会 参加
場所：長崎市立図書館
2. 9. 福岡県作業療法協会 三役会 出席
場所：福岡県作業療法協会 事務所
2. 14. 現職者共通研修 講師
15. 第19回福岡県作業療法学会 参加
平成27年度福岡県作業療法協会予算総会 出席
場所：アクロス福岡
3. 11. 北九州市障害支援区分認定審査会 調整委員会 出席
場所：北九州市総合保健福祉センター
3. 20. 「地域ケア会議モデル事業の取組み報告会」での「作業療法士に関する情報」提供
場所：福岡県吉塚合同庁舎

遊びを通した関係発達への援助～作業療法の観点から～ 後編

大和大学 保健医療学部 総合リハビリテーション学科作業療法学専攻
原義晴 北山淳 福本倫之 南征吾

§1. 遊びで何を学習するのか

遊びは、社会生活を営む上で人と人の関係性を維持して発展するための振舞い方を学習する要素を十分に含んでいます。多種多様な遊びを経験して、そこで様々な人とのやりとりができるということは、その場の状況に適応した振る舞い方ができるといふこととなります。子ども時代は、「学力」の向上に焦点を当てるだけでなく、もっと人としての幅を広げていくことが大事になります。

では、遊びで何を学習するのかというと、遊びにおける「ふり」や「見立て」を通して現実社会や集団生活に必要な人と人の関係を維持・発展させる対処法の基本を学習していることとなります。「この様な場合は、この様に振舞う。」、「今は、この役割を果たそう」、「みんなと同じ様にしよう」という具合に子ども同士の遊びがうまく展開できるような対処法を自らの個性やその状況に即応させて学習していると考えます。

これは、親が教えて「こう振舞いなさい、ああ振る舞いなさい」と言ってすべて身につくものではなく、つまり、振舞い方などの行動様式の学習が先行するのではなく、遊びの中で子ども同士が相互に反応して（拒否されたり・したり、受け入れられたり・受け入れられたり、提案したり・されたり等）ほどよい関係を維持・発展させるための術を習得していきます。ほどよい関係性を生み出すその対処方法を脳は学習をしています。脳の働きは、ある出来事に対してどのようにすればよいかということを経験しながら記憶していくことです。他者からの反応を受け取り、それに対する表現をどのようにすれば相互の関係がうまくいくのかという対処の仕方を脳は蓄えていきます。つまり、脳は、道がぬかるんでいた時の歩き方はどのようにすれば滑らずに歩けるのかということから複雑な人間関係に対する振る舞い方までその対処方法を学習しています。様々な対処方法を蓄えることが経験を積むということになります。一つ一つの出来事に対応しながら日々の生活を営み経験を積み重ねることが、人として成長することに繋がります。

人との関係を維持することは、相互の情報のやり取りの連続という他ありません。情報が脳に入りそれに反応することは、あなたのことを私はこのように受け取りましたとフィードバックしていることとなります。そのフィードバックを受けて「この人を怒らせてしまったから、自分はもうちょっとこういう具合にしたらいいなかな」とか、「認めてくれたからこれはいいことだな」と

言う具合に次の反応への対処を考えて、脳はどんどん学習して発達していくわけです。

このような情報のやり取りを積み重ねると情報が集約され、その人との関係において目標が生じてきます。子ども同士が他愛なく砂場で遊んでいて、砂を器に入れたり出したりしているうちにパン屋さんごっこになったり砂山作りになったりと変化していきます。情報をやり取りしながら、だんだんその情報がどこに向かうかという目標設定がなされてきます。人と人の関係発達でこのような目標設定の機会が増せば増すほど、「じゃあ、次はこうしよう」とか、「こうなるだろう」ということが予期的に推測できるようになってきます。物事に対して先のことを見通して予期的に反応できるということは、自分自身がどういうことができるのか・何がしたいのかが客観的に見えてくることと同じであると考えます。この様な過程は、初期の子どもと養育者の関係から育まれています。例えば、養育者があやして子どもが楽しそうに笑ったら、養育者はもっと子どもの反応を引き出そうと誇張した表情や発声で対応するでしょう。そして、子どもも養育者の楽しそうな反応を求めて笑顔や発声をさらに増強させるでしょう。これを繰り返しつつも次の養育者と子どもの関係を展開するために「じゃあ、次は外へいってみようか」とか「絵本を読んであげようか」など行動が変容して目標が徐々に設定されてきます。

養育者が誘いかけ、子どもが気づいて反応して、その反応を養育者が解釈してまた誘いかけるというサイクルを繰り返しつつ養育者と子どもの関係が向かう方向、つまり目標が明確になってきます。そういうやりとりのなかで一方的に「このようにしなさい。」とか言うのではなく、きちっと相手の気持ちを映し出して、それに応えて、それに対して相手はどう受け取ったかということをきちんとフィードバックしてあげましょう。これは、かなり根気を必要とする作業になりますが、大勢の家族や子ども同士の関わりが少なくなった現代社会では必要な手続きだと思います。数十年前のような大勢の集団の中での関係発達には、多様な関係が存在するため一方的かつ威圧的な関わりも全体的に見れば修正と調和が適度になされていたと考えます。

このような関わり方は、障害の程度に関係なく生じている例を紹介します。覚醒状態も低く、側弯がかなり強い女の子です(図1)。二十歳ということで成人式の写真を撮るといふことになりました。座位姿勢ができないだけでなく、頭のコン

トロールも不十分で全身の反り返りも出現します。母親が着ていた振袖をこの子にさせて写真を撮りたいというのが母親の願いです。目標を成人式の写真撮影にして、前傾座位姿勢で頭を挙げることに手を合わせることを作業療法で取り組みました。着付けの方にも丁寧に関わっていただいたおかげで、パンダ椅子に座り母親の振袖を着て帯も締めて両手を前で合わせて記念写真を撮ることができました(図2)。目標設定が達成できた上に側弯が110°から90°に軽減していました。身体面の改善目標ではなく、生活の中で目標設定がなされることにより、養育者や家族だけでなく彼女に関わる人たちの間で様々な情動的な関わりが生じます。「あなたもここまでよう育てよかったな」というような思いが彼女に伝わります。彼女に関わる人たちが彼女の心の様子を映し出し、彼女に関わる人たちの様子を彼女の表情が映し出すことによって彼女の存在感が得られることになります。

目標というのは、次は頭部のコントロールを良くして飛行機に乗って海外旅行とか、近所にできたスイーツの店に行ってみようとか…大目標から小さいことまで様々あります。生活の中に目標と一緒に見つけ出して成長していく過程が大事で、それは養育者と子どもだけで決まるものではなく、その周りも一緒に関わることで自然と目標が生じてきます。そして、養育者は、目標設定やその達成については他者に伝えたくなくなります。先ほどの母親も同様に目標達成の喜びを多くの人に伝えたい、共感を求めたい作用が働きました。そして、共感できる人に出会えることで彼女と母親の存在に充足感が満たされます。人は、自分自身が感じたことや認識したことは信頼できる他者であればあるほどに伝えたくなくなります。人の認識機能は、他者への伝達機能があるということで、一対一の関係だけでなく広がりがあります。この伝達機能は共感するということが大事であり、共感できる関係がいくつもある人ほどいろんな状況にあわせていろんな振る舞いができます。



図1

§2. 遊び：脳と関係発達

脳の中には、相手の意図を汲み取って読み取るというミラーニューロンという神経細胞の集まりがあります。ミラーニューロンには、相手のしていることが理解できる・他者の気持ちが分かるという機能があります。例えば、サルがバナナを食べています。食べているサルは、「おいしいなあ」と思って実際食べています。このとき、脳の前頭葉あたりが作用しています。それを見ているサルも「あっ、うまそうに食べている」と思います。このときも実際にバナナを食べているサルと同じ脳の部位が作用しています。要するに、ミラーニューロンの働きというのは、見ている方も食べているほうも同じ箇所のところ働くということです。つまり、食べている他者の気持ちが分かるということになります。脳の同じところが作用していて鏡のようだというので「ミラーニューロン」と言われています。このニューロンの意義は、自己と他者の行為の意味の共通性を理解するということです。人が「はははあ〜」と笑ったら「おもしろそうや」と思うからそれを見ている人もつられて笑うときも同様のニューロンが作用しています。子どもと養育者の関係においても、養育者のほうが楽しそうに相手を映し出そうとすると、子どももまた同じように楽しそうに振る舞い相手の楽しいそうな気持ちが分かるようになります。養育者が否定したり無視したりすると、子どもは不安になりどのように振舞ってよいのか分からなくなります。養育者や大人の振舞い方が、子どもの全体像を形成していきます。鯨岡先生の話にもあったように、大人側の思いを映し



図2

出してあげて自分に気づかせるという関係発達
は、脳のシステムとしてもミラーニューロンが存
在しています。

お腹減ったとか眠たいとか人には下位の生理的
欲求がある一方で、鯨岡先生は関係欲求と述べて
おられますが、誰かと繋がっていたいという欲求
があります。これは情動的なつながりであり、ミ
ラーニューロンも作用していると推測できます。
例えば、鳥が集団の中で雛を育てるとき、自分の
雛を間違わずに餌を運んできます。雛の鳴き声、
親鳥の声というのがきちっと結びついて記憶され
ています。それを識別して親鳥は、雛を探して餌
を与えます。このような一旦結びついた情報とい
うのは、情動的つながりが基盤にあります。聴覚
情報は、直接情動に作用します。人の声も同様で
あり、一旦刷り込まれた情報に強く結びつくこと
で生きることへの確信ができます。

このような情動作用による関係性の維持は、生
き物がうまく生きていけるためのガイドの役割を
担います。また、喜びや悲しみとか様々な情動作
用があるからこそ、相手の振舞い方を理解するこ
とや相手に対してどのように表現したらよいかも
分かってきます。子どもが感情豊かに表現できる
ためには、大人がいかに感情豊かに多様な表現方
法で関わっていくかということが重要だと思いま
す。

ミラーニューロンがうまく機能するために遊び
や学習などの子どもとの関わりで大切なことは、
子どもを最終的には「ほめる」ことだと考えてい
ます。ほめるということは、子どもの存在を認め
るということです。具体的にうまくいったらすか
さずほめる。セラピー場面でも「そうそう」とか
「うまい」とかって言ってすかさずほめたりする
ことが、その振る舞いがいいのかが映し出
されているということになります。ほめること
により関係発達において情動的なつながりを促進し
ます。養育者は、どうしても理想を求めため要
求が高くなりほめる機会が少ない傾向にありま
す。しかし、子どもが養育者以外の他者からほめ
られている姿は、養育者にとってうれしいもので
す。特に、心身の障害を伴う子どもと養育者の関
係性においてその枠組みが広がっていくというこ
とが重要で、養育者の苦労もひとつずつ報われて
いく過程となります。

叱られると自己評価が下がってやる気もな
くなってまた問題行動が起こります。ほめられるこ
とには達成感があります。ほめることは、報酬を
受け取ることになり、それを認められ受け入れら
れたということが自分の評価になります。認めら
れたことは、もう一度再現したいという気持ちを
呼び起こします。それが遊びや行動様式を変えて
いく過程にもなります。例えば、家庭で子どもが
一人でスプーンを使用してこぼしながらも食事を
しています。「ああ上手やね、おいしいね」と

言って一生懸命スプーンで食べる姿を養育者は認
め応援しているとします。子どもは、おいしそう
に元気に食べる姿を再現しようとします。これと
は逆に、「また、こぼして!」「服が汚れたで
しょ。」とかあまりにも口うるさく言い過ぎる
と、味わうことよりもこぼさないで食べる方に意
識が集中して人目を気にして萎縮するか、食への
欲求が減少する結果を招きます。生活の中で、全
てが全てではないでしょうけど、メリハリつけて
きちっと最終的にはほめて認めることが大切と感
じています。

§3. 遊びと生活

次に、遊びと生活の関係という内容を作業療法
の観点で述べます。心身の障害が重度な子どもほ
ど多種多様な遊びをできるだけ多く経験させたい
のですが、健常な子どもでもすべてがすべて経験
することは不可能です。そこで、作業活動内容で
運動する感覚が同じものを分類しました(表
1)。ここで大切なことは、多くの遊びや活動を
経験することよりも、遊びや活動の質を十分に経
験することが非常に大事であるということです。
遊びであれば、しっかりと遊びきるということが
重要な要素になります。つまり、遊びの質を大事
にして遊ぶということです。質というのは、運動
する感覚のことをここでは言います。例えば、食
具類、箸やスプーンを操作するときの運動-感覚
は、絵や文字を描く運動-感覚と同じです。紙面
や食器の上をペンやスプーンが移動するという共
通した運動-感覚が生じるからです。スプーンで
皿の底に沿って物をかき集めて食べ物をスプーン
に乗せていく過程と、ペンを紙に沿って描くのは
一緒の運動-感覚の過程と考えます。この運動-感
覚過程は、物の認識や行動様式にも影響を与えま
す。ですから、うまくこぼさずに食べることは、
丸が描ける能力が必要と考えています。閉じた丸
を描くというのは、丸を閉じる最終段階で閉じる
箇所を目で確かめることが要求されます。閉じた
丸を描けないと最後まできれいかき集めて食べ
ることも難しくなります。逆に、閉じた丸が描け
るようになるとだんだんこぼさずにきれいに食べ
ることができるようになります。食事の様子を観

運動する感覚が同じ活動

・食具の操作	⇔	描画、書字
・洗体、布団の出入り	⇔	更衣
・ひも結び	⇔	巻く、包む
・包丁操作	⇔	フォーク操作
・積み木活動	⇔	形体の認知
・ハサミ操作	⇔	連続リーチ
・手づかみ食べ	⇔	物の持ち替え 等々

表1

察して、残り少なくなった食べ物をかき集めて食べだす時期には、字の書き方を学習する段階になったと判断しています。また、連続した丸を描けるようになれば、食事でごぼすことも少なくなり最後までうまく食べることができるようになっていけると言えます。

衣服の着脱とか布団の出入りは、その空間を広げてその中に入って行く活動です。その空間を潜り抜ける活動は、障害物競走の中で通り道を探っていくという遊びと同じ運動-感覚であり、身体のイメージや身体の使い方を学習します。頭を打たずにこの土管の中を通り抜けるとか、狭い所に潜り込むとか身体の使い方に工夫が見られる時期は、衣服着脱の手順などの理解もしやすくなります。

紐結びとか巻く・包む活動は、物と物の接点をずらさないことがこの活動が成功するか否かの要点になります。結ぶ・包む・巻くという活動は、物を押さえている一方の手はその場を動かさず、他方の手が反応してくぐる・重ねる動作をします。紐結びが難しい場合には、紐の3次元的な空間関係の理解の重点を置くよりも遊びの中でお店屋さんごっこなどの活動で包む・巻く動作をしっかり積み重ね両手の使い方がうまくなるのが先決と考えます。このとき、両手を正中線交叉して遊んでいるか観察するとよいでしょう。

積木遊びは、積み木が置けそうな場所を選んで積みあげていきます。積み木がそこに留まるかどうか判断してそっと手を離さないといけない活動です。これは、眼で見るよりも手の感覚情報を中心に意識しないとできない活動です。手の必要な感覚情報を抽出して運動を制御しながら創造することは、自閉症など発達障害を伴う子どもたちにとって苦手な活動となります。もしくは、一定の積み木活動にこだわる場合もあります。また、積み木をどこへどのように積みば積みあがるかを考えることは、図形の認識とか形の弁別とかそういうことに役立ちます。積み木遊びは、料理の盛り付けと基本的には同じ活動であり、創造性とそれを支える手の感覚情報を制御することが要求され、かなり難易度の高い遊びとなります。この活動に興味を示すことは、構成的遊びの段階に入ったと判断できます。

料理活動は、絶対子どもが経験すべき活動の一つと考えています。それは、意思決定を育てることに役立つためです。例えば、お米がどういう具合に変化してご飯になっていくかという過程で、「硬い」「冷たい」米粒が炊き上がって熱いが柔らかくなる。また、ホットケーキ作りで、粉が水に合わさって液体になり、混ぜると粘りが出てきて、焼くと硬くなりいい匂いがする。子どもは、その素材の変化に引きずられるように運動を変化させます。運動を変化させる背景には、変化する素材の感覚情報をしっかり受け止めなければなり

ません。この感覚情報を基に運動を変化させるときに意思が作用します。卵を焼くにしてもしっかり焦げ目が付くまで焼きたいのか、半熟程度にしたいのかという意思決定が働きます。意思決定が明確になるためには、自分がやったことに対してどんな結果になったかを十分知ることが必要です。焦げすぎて真っ黒になった、次はこのようにしたいなど結果について他者もフィードバックして情報を与えることで、結果を意識して次の目的指向に繋がります。基本的には、料理は素材の変化を感じ取っていく活動になるので、レタスの皮をむくとか、一緒に包丁でザクッと切つて変化を感じるとか、素材の変化の一部でも経験して体感すると、出来上がった食べ物に関心が向くだけでなく意思決定を育むよい機会になります。

多種多様な遊びを多く経験することよりも、一つの遊びでいかにバリエーションを持ってやり通すかが遊びの経験では重要と考えています。お絵かきで丸をグルグル描くという場面でも、焼きそばに見立てるとかハンバーグに見立てるとか車に見立てるとか…。見立てを変えれば同じ行動でも意味が違ってきます。セラピストを含め子どもに関わる側も豊かな見立て方ができるかどうかセンスを磨かないといけないと思います。

§4. 遊びと姿勢・運動

次に、遊びを通じた姿勢と運動ということについて考えます。私が作業療法士になったころ、まず体幹を鍛えてバランス活動を促進してから実際の活動を練習するというリハビリのプログラムが主でした。つまり、体がしっかり安定しないと様々な活動ができない、そこでまず体を安定させましょうという考えです。どうもこれは、逆だということが分かってきました。楽しみながら、遊ぶ気持ちがあるからこそ、姿勢や運動の発達がうまくついてくるのではないかと考えるようになりました。遊びや日常生活の活動で、どのようにすればその活動がうまく成功するか、その方法が分からないといくら体をしっかりさせてもうまく動くことができず姿勢を崩してしまいます。活動それぞれに特有の運動-感覚があることは、すでにいくつか例を挙げて紹介しました。この運動-感覚を体感することが、その活動を実際に行おうとするときの姿勢の構えを形成します。それぞれの活動で生じる運動-感覚を体感することは、活動に向かうとき活動から得られる感覚情報を予測することに繋がり、予測できるからこそ姿勢の構えが生じるのです。体を鍛え姿勢をしっかりさせることを優先させるのではなく、様々な活動から得られる運動-感覚情報をしっかり脳に記憶させることが重要です。この運動-感覚情報が体感できるように姿勢を支えて上げることが大切であり、目的とする運動が連続するようになると姿勢を支えなくても安定するようになります。

例えば、スプーン動作では、皿に沿ってかき集めるという運動-感覚が座位の安定に繋がります。衣服着脱動作では、衣類の中を潜り抜ける運動-感覚が骨盤の動きが誘発されると同時に安定します。骨盤が安定すると立ち上がり動作も安定して安全にすることができます。ハサミ操作でも下の刃で紙を受ける運動-感覚が体をしっかりさせることに繋がります。

また、トイレで穴のあいた便座に座るのが怖いという場面もあります。それは滑り台で滑る遊びと同じ運動-感覚です。滑り台は、まずどこかを支持して止まれること、そしてその支持を緩めてスルスルっと滑っていく活動です。滑り台で止まることができるようになると穴のあいた便器の中でも臀部のどこで支持して安心して座ることができるという運動-感覚が学習されます。

§5. 遊びのコツ

遊びを誘導するコツとして、言語的な指示よりも子どもの後方から子どもを包み込みながら手を添えて動作を誘導します。習字の先生が生徒を後方から直接誘導するようにします。

例えば、包丁の操作を誘導している場面です(図3)。大人が子どもの後方から包丁と腕の向きが一緒になるように誘導しています。このとき、体を斜めにしないとうまく包丁が運べません。左足に体重がかかり右腕の運動範囲を確保するためです。動作を誘導するという事は、動作の背景となる姿勢も誘導しています。子どもは、誘導されることで全体的な姿勢と運動コントロールを自然と学習しています。大人は、その活動にある程度熟練しているので姿勢を意識しなくても自然と誘導できます。これを言葉で伝えようとするとかなり難しくなります。

また、子どもは遊びを通して自分の体のイメージを変化させていきます。それは、「～できそう

な自分」というのがだんだん確立していく過程であり、自信にも繋がります。この自信を育むためにも、遊びを難しくするのではなくできるだけ簡素化することが重要と考えています。そこで大事な事は、「見立て」とか「つもり」をうまく利用することです。生活場面をうまく反映させて、子どもの主体性にまかせながらも誘導してその繰り返し行うことが大事です。そのためには「見立て」「つもり」という遊びのバリエーションをこちらが用意しておく必要があります。それを情緒的な遊びの表現として子どもを満足させることができます。

子ども自身が一人で動作をする場合は、その活動の終わり部分を子ども自身にさせるようにします。そうすることで、子ども自身がその活動をやり終えたと感じ取ることができます。大人は、これを成功体験として励まします。

また、このような経過を踏まえながら一人遊びをする機会を作ることも重要です。将来一人で過ごす時間が必要になったときの準備をするためです。

§6. おわりに

最後になりますが、人は、自らの生活経験を他者に伝えあっていく存在です。その他者がうまく映し出してくれなければ人は存在しえません。人は、他者からいろんな角度で見られているので、自分自身はこの様な存在であることが分かってきます。各人の経験を突き合わせて、受け止めて、きちっと返してあげる。それを積み重ねていく過程が関係発達を促進することであり、遊びそのものでもあると思います。

文献

鯨岡 峻(2002)

「育てる者」から「育てる者」へ 関係発達の視点から、日本放送出版協会。

麻生 武(1998)

「遊びという謎」ミネルヴァ書房。



図3

平成27年度 第7回 公益社団法人福岡県作業療法協会 理事会議事録

- I. 開催日 : 平成27年2月2日(月) 19時00分～22時00分
II. 場所 : 株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン
III. 理事総数 : 20名
IV. 出席理事数 : 17名
V. 出席者氏名 : 志井田太一, 竹中祐二, 座小田孝安, 中川昇, 白山義洋, 深町晃次, 田中真純, 榎本孝史, 沖雄二, 菅沼一平, 佐藤稔, 手島智康, 大田登志樹, 平岡敏幸, 玉野和男, 有久勝彦, 福田裕樹(以上, 理事) 吉田秀樹(以上, 監事) 鐘ヶ江秀俊, 田邊慎一, 藤崎実知子(以上, 事務局)
欠席者氏名 : 濱本孝弘, 轟木健市, 椋学美(以上, 理事) 原口健三(以上, 監事) (敬称略)

VI. 審議事項

1. 規約集内容について(手島規約委員会担当理事)

規約集の内容(目次)について提案。 →承認

2. 会館設立について(中川事務局長)

以前より構想のあった福岡県作業療法協会の会館設立について提案。
→三役会にて詳細を検討の上, 再度理事会にて審議

3. 福利部研修会について(深町福利部担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認
黒田隆之氏(アイエック訪問看護ステーション)
臨床におけるコミュニケーション技法

4. 福岡ブロック研修会について(椋福岡ブロック担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認
中村儀成氏(創造館クリエイティブハウス理事長) 就労支援について
和田幸之氏(地域活動センターI型サンサンはかた施設長) ピアサポートについて
佐藤まりこ氏(地域活動センターI型希望ピアスタッフ) ピアサポートについて
梅津和子氏(特定非営利法人梅津メンタルケアセンター理事長) ピアサポートについて
古野優子氏(北九州市立総合療育センター) 感覚統合について
松原麻子氏(広島市立リハビリテーション病院) 自動車運転について

5. 北九州ブロック研修会について(玉野北九州ブロック担当理事)

以下の講師依頼について報告。 →承認
座小田孝安氏(株式会社 シダー) 介護報酬改定について
福田裕樹氏(八女リハビリ病院) 介護報酬改定について

6. 福岡県障害者差別禁止条例を進める会(仮称)の構成団体への参加について

(志井田代表理事)

当事者団体及び家族会への支援を広げるため, 以下のような形で参加することが提案。
→承認

参加形態	賛同団体
年会費	1口2,000円で3口(6,000円)を納金

7. 会員の入会について(中川事務局長)

平成26年12月1日から平成27年1月31日までの間に13名の入会があった。

→承認

Ⅶ. 協議事項

8. 第20回福岡県作業療法学会の学会準備委員選定について（有久学術部担当理事）

以下のように準備委員会の提案があった。

→承認

広報部 越智哲平氏（聖ルチア病院）
運営部 山科美緒氏（ビハーラ光風）
学会誌編集部 森健一朗氏（デイサービスよかところ）

9. 休会制度と関与する入会金の検討について（中川事務局長）

休会制度を実施するにあたって以前より課題としてあがっていた入会金について検討。入会金を新たに設けることについては継続検討していくこととし、休会制度については現行の会費制度に基づき平成27年4月1日より開始することとなった。

→継続検討

Ⅷ. 報告事項（特記報告のみ記載。）

10. 代表理事行動について（志井田代表理事）

平成26年12月、27年1月の代表理事行動について報告があった。

11. 県協会宛て依頼案件について（志井田代表理事）

平成26年12月1日から27年1月31日までの間に県協会宛てに24件の依頼（研修会案内依頼5件、講師・委員派遣依頼9件、共催・講演依頼2件、その他依頼8件）があったとの報告があった。

12. 地域ケア会議のアドバイザー推薦、介護予防総合支援事業への支援の対応について

（志井田代表理事）

上記に対応できる会員の推薦指針についての提案と現状報告があった。

13. 医療・介護サービスの提供体制改革のための新たな財政支援制度について（志井田代表理事）

P T士会より上記制度に対して三士会での申請、事業企画・運営への要請があったことの報告があった。

14. 「大規模災害対策」への取り組みについて（志井田代表理事）

竹中業務執行理事を窓口として、J R A T（日本リハビリテーション支援関連団体協議会）と連携を推進していくことの報告があった。

15. 教育部主催研修会について（白山教育部担当理事）

平成27年1月18日（日）に開催された発達分野研修会の報告があった。参加者99名（OT84名内他県士会11名、PT2名、他職種13名）。

16. 第19回福岡県作業療法学会の進捗状況について（有久学術部担当理事）

広報関係等の進捗状況について報告。

17. 第20回福岡県作業療法学会について（有久学術部担当理事）

第20回福岡県作業療法学会について平成28年3月5日（土）～6日（日）に開催予定で準備を進めている。

18. ジャーナル「作業療法・福岡」について（有久学術部担当理事）

ジャーナルの進捗状況について報告。平成27年3月中旬に発行・発送予定。

19. 渉外部活動及び講師派遣報告について（田中渉外部担当理事）

平成26年12月、27年1月の渉外活動及び講師派遣内容について報告。

20. 地域ケア会議に向けた福岡東ブロックの取り組みについて（大田福岡東ブロック担当理事）
宗像・福津市の地域ケア会議への会員派遣の準備状況について報告。

21. 県協会福利厚生事業について（深町福利部担当理事）
福利厚生事業（ハーモニーランド第2回）に対して122名の参加があった。

IX. 次回開催日

平成27年度 第1回理事会
日時：平成27年4月6日（月）19：00～
場所：株式会社らそうむ 良創夢リハビリスポーツガーデン

医療福祉の多彩なエキスパートを育てる。

国際医療福祉大学大学院

福岡キャンパス（福岡県福岡市）

大川キャンパス（福岡県大川市）

医療福祉学研究科

修士課程 保健医療学専攻

作業療法学分野／理学療法学分野／リハビリテーション学分野／言語聴覚分野／看護学分野／ナースプラクティショナー養成分野／助産学分野／助産学（福岡）分野／視機能療法学分野／福祉支援工学分野／放射線・情報科学分野／生殖補助医療胚培養分野

医療福祉経営専攻

医療福祉経営学分野／診療情報管理・分析学分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉連携学分野／医療福祉ジャーナリズム分野

臨床心理学専攻

博士課程 保健医療学専攻

作業療法学分野／理学療法学分野／リハビリテーション学分野／言語聴覚分野／看護学分野／助産学分野／視機能療法学分野／福祉援助工学分野／放射線・情報科学分野／生殖補助医療胚培養分野／医療福祉経営学分野／診療情報管理・分析学分野／医療福祉国際協力学分野／先進的ケア・ネットワーク開発研究分野／医療福祉連携学分野／医療福祉ジャーナリズム分野／医療福祉心理学分野

薬科学研究科

修士課程 生命薬科学専攻

薬学研究科

博士課程 医療・生命薬学専攻



- ◆ 社会人の方も働きながら無理なく受講できます
多くの授業を平日の夕方と土曜日に開講
- ◆ 一流教授陣の講義をリアルタイムで受講できます
各キャンパスを結ぶ同時双方向遠隔授業を実施
- ◆ 研究者志向の方のニーズにも対応できます
大田原キャンパスに充実の研究施設を整備
- ◆ 長期履修制度を導入しています
あらかじめ3年間での計画的な長期履修の申請が可能

※専攻、分野によっては、受講できるキャンパスが限られているものもございますので、詳細につきましてはお問い合わせ下さい。
※短大卒・3年制専門学校卒で進学可能（修士課程）

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

福岡キャンパス

〒814-0001 福岡県福岡市早良区百道浜2-4-16
TEL：092-407-0434
FAX：092-407-0474
E-mail：fukucamp@iuhw.ac.jp

大川キャンパス

〒831-8501 福岡県大川市榎津 137-1
TEL：0944-89-2000
E-mail：oocamp@iuhw.ac.jp

HP：http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/

平成26年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会議事録

1. 開催日：平成27年2月15日（日）
2. 時間：15時30分～16時20分
3. 場所：アクロス福岡 606会議室
4. 正会員数：2,682名（平成27年1月15日現在）
5. 代議員総数：41名
6. 本総会出席代議員数：本人出席 26名 書面評決者 15名
7. 出席者氏名：

<代議員本人出席>

志井田太一，竹中祐二，座小田孝安，中川昇，白山義洋，有久勝彦，深町晃次，田中真純
菅沼一平，手島智康，福田裕樹，轟木健市，平岡敏幸，玉野和男，沖雄二，佐藤稔，椋学美
町田真一朗，田中聡，中島純二，黒木勝仁，東谷成晃，澤田剛，中原徳郎，原野裕司，靱井剛士

<代議員書面評決者>

濱本孝弘，大田登志樹，榎本孝史，青山克実，日高健二，深井伸吾，原田靖子，古賀大亮
渡辺友基，藤田曜生，原田布美子，苗村俊助，熊添潤一，矢野浩二，江口智則

<監事>

原口健三，吉田秀樹

<事務局>

鐘ヶ江秀俊，田邊慎一，藤崎実知子

8. 議長，書記選出：

中川昇理事が開会を宣言し，定款第23条に基づき出席代議員の中から議長に志井田太一氏が選出された。ついで議長の指名により書記に鐘ヶ江秀俊氏，藤崎実知子氏が選出された。

9. 議事の経過の要領及びその結果

議長は，議事運営委員長の深町晃次氏より報告をうけ，上記のとおり定足数に足りる代議員の出席があったので本総会は成立した旨を報告した。

ついで議長は定款第27条の規定により，議事録署名人に田中聡氏，原野裕司氏を任命した。

議事録署名人：田中聡氏（リハデイ吉木） 原野裕司氏（久留米大学病院）

第1号議案：平成27年度事業計画

第1号議案，平成27年度事業計画について代表理事より報告があった。

議決の結果過半数の賛成にて承認された。

第2号議案：平成27年度収支予算報告

第2号議案，平成27年度収支予算について中川理事より報告があった。また，吉田監事より補足説明があった。議決の結果過半数の賛成にて承認された。

10. 議長団解任

11. 閉会の言葉

以上の議事進行をもって総会が終了した。

以上の決議を明確にするために，本議事録を作成し，定款27条により議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成27年2月15日 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会

各部・委員会からのお知らせ

【教育部】

主催研修会開催報告

1) 発達分野研修会

日 時：平成27年1月18日（日）10:00～15:00
会 場：専門学校麻生リハビリテーション大学校
テーマ：『活動・参加へつなげるために～発達障害領域のOTに求められる機能のみかた～』
講 師：鴨下 賢一 OT（静岡県立こども病院）
参加数：99名（OT84名 内他県士会11名，PT2名，他職種 13名）

2) 地域分野研修会

日 時：平成27年2月1日（日）10:15～15:30
会 場：福岡医健専門学校
テーマ：『今後の地域の流れと求められる作業療法士の役割』障害者保健福祉領域における作業療法士の役割地域包括ケアシステムにおける作業療法士の役割
講 師：①高森 聖人 OT（株式会社空色・一般社団法人虹色福祉事業部統括部長）
②佐藤 暁 OT（井野辺病院在宅リハケアセンターかく センター長）
参加数：35名（内他県士会1名）

3) 第2回現職者共通研修

日 時：平成27年2月14日（土）9:30～12:40
会 場：アクロス福岡
テーマ & 参加数 & 講師：
区分1 ①作業療法生涯教育概論 36名 鐘ヶ江秀俊 OT（療養介護事業所 ひなた家）
青山 克実 OT（麻生リハビリテーション大学校）
②職業倫理 40名 手島 智康 OT（良創夢リハビリの森デイサービスセンター）
区分2 ①作業療法の可能性 43名 志井田 太一 OT（福岡県作業療法協会 会長）
②事例報告と事例研究 35名 音琴 慎一 OT（福岡和白リハビリテーション学院）
区分3 ①保健・医療・福祉と地域支援 31名 靱井 剛士 OT（健康リハビリテーション内田病院）
②実践のための作業療法研究 38名 佐野 幹剛 OT（九州栄養福祉大学）
区分4 ①作業療法における協業・後輩育成 22名 永田 敬生 OT（福岡医健専門学校）
②日本と世界の作業療法の動向 30名 大丸 幸 OT（九州栄養福祉大学）

【北九州ブロック】

〈北九州ブロック〉

ブロック企画会議開催

日 時：平成27年1月5日（月） 19:00～
会 場：曾根東市民センター 大会議室
日 時：平成27年3月2日（月） 19:00～

会 場：曾根東市民センター 大会議室
福岡県地域ケア会議模擬ケア会議

日 時：平成27年12月20日（土） 14:00～

会 場：九州大学医学部 百年講堂大ホール

参加者：都甲（あやめの里），玉野（松恒園通所リハビリ）

〈小倉北・門司エリア〉

エリア事業企画会議開催

日 時：平成27年2月3日（火）19:00～

会 場：新小文字病院 すみれ寮1階会議室

第7回北九州ブロック研修会開催

日 時：平成27年1月16日（金）19:00～

会 場：北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム

テーマ：「明日から役立つ認知症のこと～評価と作業療法～」

講 師：小林真司氏（可也病院）

参加者：92名

〈小倉南・京築エリア〉

エリア事業企画会議開催

日 時：平成27年2月18日（水）19:00～

会 場：曾根東市民センター

〈八幡西・遠賀・中間エリア〉

エリア事業企画会議開催

日 時：平成27年1月30日（金）19:00～

会 場：おかがき病院

日 時：平成27年3月4日（水）19:00～

会 場：リハデイ吉木

第8回北九州ブロック研修会開催

日 時：平成27年2月17日（火）19:00～

会 場：産業医科大学病院 大会議室

テーマ：「注意機能障害 Up to Date」

講 師：四元孝道氏（九州栄養福祉大学）

参加者：85名

【福岡ブロック】

1. 事業企画会議開催：1月15日，2月19日，3月12日

2. 広報部

1) 「Joy Style 冬号」（1月）発行

2) 広報部会開催

日 時：3月5日（木） 19:00～

会 場：寺沢病院

内 容：マニュアル読み合わせ，今後の方針検討，来年度の広報紙の内容検討 等

3) Facebook：随時更新中

3. 教育学術部

「福岡市のピアサポート講座について」

1) 『福岡市ピアサポート講座 体験談①～病者からピアチーフへ』

2) 『福岡市ピアサポート講座 体験談②～ピアサポート講座に出会って』

3) 『福岡市におけるピアサポート講座とピアスタッフのあゆみ』

講師：(1)和田 幸之先生（地域活動支援センター I型 サンサンはかた施設）
(2)佐藤 まりこ先生（地域活動支援センター I型 希望 ピアスタッフ）
(3)梅津 和子先生（特定非営利活動法人 うめづメンタルケアセンター理事長）

日時：3月10日 19：00～20：30

会場：福岡市立南市民センター視聴覚室
(2階)

参加：25名

4. エリア会

1) 中央地区・東地区合同エリア会

「就労支援における作業療法士の関わり～高次脳機能障害の事例を通じて～」

講師：中村儀成先生（NPO法人 列島会 創造館 クリエイティブハウス 理事長）

日時：2月20日（金） 19:00～20：30

会場：虹の家

参加：12名

2) 第3回 事例報告検討会

日時：2月5日（木） 19：00～20：30

会場：麻生リハビリテーション大学校

発表：4名 聴講：7名

【筑後ブロック】

開催日：平成27年2月16日（月）19:30～

場所：高良台リハビリテーション病院

出席者：10名

理事（轟木健市），事務（原口正邦，村田宜啓），

広報（古賀昭彦）学術（箕輪佳代）

学術教育研究統括（岩佐親宏），教育（長彰純，

中満篤子，弥永浩一郎，木村伸一郎）

A地区（江口智則，國崎啓介，古賀英教，堀田和也）

B地区（中原徳郎，大村洋介 山下和希，布川未来，木村有希）

C地区（澤田剛，森健一朗，荻島秀顕，末藤優介，川田隆士，上村佳代）

D地区（古賀大亮，田中純子，平原榮里香，出利葉亮介，藤田知志，香田隆司）

理事

1. 理事会の報告；

（平成26年度 第7回県協会理事会より）

平成27年2月2日（月）－良創夢にて

1) 審議事項；

(1)規約集について；

(2)会館設立について；

(3)研修会講師に承認について；

(4)福岡県障害者差別禁止条例進める会(仮称)の団体への参加について；

(5)正会員の入会について；

2) 協議事項；

(1)第19回福岡県作業療法学会の準備委員についての承認について；

(2)一般社団法人 日本作業療法士協会の福岡県代議員の動向および意向確認について；web投票について広報していく。

(3)正会員の入会について；

3) 報告事項；

(1)会長より；動向について

(2)副会長より；

(3)事務局長より；

①平成27年2月15日に予算総会開催予定。

(4)教育部より；

(5)渉外部より；

(6)広報部より；菅沼理事は今年度にて辞職。後任は未定。

(7)事業部より；

(8)保険委員会；

(9)企画委員会；

(10)地区担当理事より；

①地区担当理事より報告（まとめて報告）

2. 平成26年度 公益社団法人福岡県作業療法協会 定期社員総会（平成27年2月15日）

1) 審議事項；第1号議案：平成27年度事業計画

⇒承認

第2号議案：平成27年度収支予算書

⇒承認

*確実な事業計画を策定し予算案を検討するようにお願い致します。（外部監事 吉田氏）

A地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1)筑後ブロックA地区事業企画会議

日時：平成27年2月5日（木）

18:30～19:30

参加者：國崎氏（聖マリア病院）

会議内容

筑後ブロックA地区研修会の開催について

テーマ：日本作業療法士協会生涯教育制度

～基礎教育から専門作業療法士取得研修の流れまで～

日 時：開催日及び会場について
平成27年3月6日（金）19：00～21：00
えーるピア久留米 301・302号室
講 師：松田隆治先生（九州栄養福祉大学）
運 営：会計 國崎氏（聖マリア病院）・堀田氏
（高良台リハビリテーション病院）
担 当：古賀氏（ゆうかり学園）・江口（高良台
リハビリテーション病院）

その他：

- ・轟木理事へ研修内容の報告を早急に行う
- ・研修会案内の発送依頼を事務局へ早急を実施予定
- ・会場予約・宿泊ホテルの予約・仮払い請求の手続きを実施していく

B地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) 事例検討報告会

日 時：平成27年1月14日（水）19：00～20：30
会 場：久留米リハビリテーション学院
発表者10名（1人キャンセル），聴講者39名
（うち事前登録者21名，当日受付18名）
座長・長彰純（久留米リハビリテーション学院）
・村元聖治（八女リハビリ病院）
・大村洋介（おおかわ訪問看護ステーション）
・武田実（川崎病院）

2) 活動予定

(1) 地区企画会議（第6回）を3月に開催予定

C地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) C地区企画会議

日 時：平成27年1月21日（水）18：00～19：30
会 場：介護老人保健施設 はなぞの
内 容：代表者会議内容伝達
事例検討報告会について
日 時：平成27年2月18日（水）19：00～20：30
（受付18：30～）
会 場：帝京大学福岡医療技術学部
（2会場⇒3会場に変更）
参加者：発表者11名，聴講者4名（予定）
当日係：座長 轟木健市先生・古賀昭彦先生・
川田隆士先生
司会 澤田・末藤・荻島
受付 森・箕輪
ポイント申請・会場割り振り・資料コ
ピー：荻島

図書カード購入：末藤

来年度運営委員継続：全員継続

来年度地区研修会：9月にナイトセミナーで企画
研修内容シーティング実技編
講師：内田正剛先生
（株式会社くますまたつく・リハサポートセ
ンター作業療法士）

D地区

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) D地区企画会議

日 時：平成27年1月19日（月）19：00～20：30

会 場：甘木中央病院

内 容：

① 代表者会議報告

② 来年度事業計画について

・地区研修会

候補）認知症について

時期）未定

・地区懇親会

5月23日（土）予定：場所キリンビアファーム

企 画：長内

出欠5月16日締め切り

・事例検討報告会

③ 運営委員について

香田（健生病院）→長内（健生病院）

平原（香月病院）→丸山病院or聖ヨゼフ園

④ 次年度研修会企画会議

4, 6, 8, 10, 12, 2月

→5, 7, 9, 11, 1, 3月に変更

2) 活動予定

(1) 次回，会議予定日H27. 5月18日（月）

学術

1. 報告事項

1) 活動報告

(1) B地区事例検討報告会について

① 日 時：H27年1月14日（水）

場 所：久留米リハビリテーション学院

・座 長：4名・発表者：10名・聴講者：21名

その他聴講者：18名

2) 活動予定

(1) C地区事例検討報告会について

① 日 時：H27年2月18日（水）

場 所：帝京大学医療技術学部

・座 長：3名，発表者：11名，聴講者：4名

(2)次年度の事例検討報告会について

- ①A地区：12月 B地区：1月
C地区：10月 D地区：2月

教育

1. 報告事項

身体障害分野担当者を選定中

会計

1. 報告事項

1) 交通費について：今回より起点入力済みの用紙を使用していく

2) 今年度決算報告について：3月中旬を目標に.

広報

1. 報告事項

1)活動報告

(1)Facebook広報内容

1/21：第19回福岡県作業療法学会申し込みについて

【シェア：福岡県作業療法協会福岡ブロック
Facebook】

2/14：19回福岡県作業療法学会 開始について

2/16：19回福岡県作業療法学会報告 (2/14-15)

2)平成26年度活動報告

(1) フェイスブックによる情報発信 (2/16現在)

・年間：37回 *詳細は別紙参照

・いいね数 273名

(告知の1回の最大リーチ数：949名)

→ホームページ掲載依頼は各代表者が広報
古賀先生にデータ送信・依頼する

学術教育研究統括

1. 報告事項

1) 保険福祉部・事業部合同会議(平成27年2月9日)

①第3回MTDLP全国推進会議の報告

・修了書の発行

今後、名簿作成は確実にを行う

・研修会プログラムの充実

加算要項に関して、研修を受けたPT・STと経験を有するOTとなる

→経験を有する言葉の定義が不明

→研修会がMTDLPの研修会になるかもしれない.

内容として演習を中心に分析をする研修にする必要あり.

概論90分+分析330分で研修会を組む必要がある

②次年度の保険福祉部計画

・MTDLP研修会 年5回

・地域ケア推進会議 年8回

・地域ケア会議に関する研修会 年1回

内容は地域ケア推進会議で検討、次年度に関しては現在、地域ケアに関わるOTを招集し、現状

を把握しその中から実際の会議に参加するメンバーを選定する.

次回3/3(火)福岡医専にて開催予定

2) 地域ケア会議等の協力アンケートについて

12.7の身障, 老年期, 精神分野での分野別研修会にてアンケート実施.

地域ケア会議等に関するアンケート結果

(2014年12月7日筑後地区研修会にて実施)

(1) 回答者

60名 記名者39名 無記名者21名

(2)回答施設数

18施設+α (施設名の記載がない分)

(3)平均年数

6.325年目 (経験年数を記載していた者の平均)

(4)所属分野

病院 53名

介護老人保健施設 5名

介護保険関連 1名 (デイサービス)

その他 1名 (養成校)

(5)対象領域 (重複あり, 回答者が考える対象領域)

身体機能 39名

精神機能 15名

老年期 22名

発達過程 4名

その他 1名 (地域)

※同じ施設名でも対象領域が異なるため回答者数で記載

(6)ケアマネージャー資格者数

回答数 59名

有資格者 4名

無資格者 55名

(7)ケアマネージャー業務

回答数 52名

業務を行っている (いた) 1名

行っていない 51名

(8)市町村業務へのOT派遣

回答数 55名

派遣している 9名

派遣していない46名

派遣理由 (重複あり)

①9名 ②8名 ③6名 ④2名 ⑤0名

(9)派遣での意義・効果 (重複あり)

- ①25名 ②28名 ③16名 ④12名 ⑤15名 ⑥6名
 ⑦21名 ⑧22名 ⑨14名 ⑩16名 ⑪2名 ⑫5名
 ⑬2名 ⑭13名 ⑮0名

3) 県学会準備状況

(1) 進行状況

10月より組織編成および企画会議を開始。学会運営における組織づくりや学会テーマに伴う学会の概要と趣意書作成を中心に実施。4月の理事会に学会概要と趣意書を提出予定。2月15日に福岡ブロックより引き継ぎ会議を行い、その後に企画会議を開催。

開催予定日：2016年3月5日（土）6日（日）

開催予定場所：九州芸文館

事務

1. 協議事項

1) クラウドサービス運用について

(1) アドレス送信のお願い

(2) クラウド上での各データ集約について：古賀先生作成予定

→今後試験的に運用していく。あくまで試験的な運用であり各会議では事務原口にメールでのデータ送信・資料印刷はこれまで同様に各代表者で行っていただく。

2. その他

1) 次回会議予定：平成27年4月20日（月）19:30～ 場所：高良台ハ

【筑豊ブロック】

1. 事業企画会議

第6回 筑豊ブロック事業企画会議

日 時：平成27年2月17日（火）19:00～20:30

会 場：飯塚記念病院 グランドホール

参加者：15名

2. 研修会

第2回 事例報告検討会

日 時：平成27年1月15日（木）19:00～21:30

会 場：飯塚記念病院 グランドホール

発表者：堀田麻美，川内茉莉香，飛永昂志（飯塚病院），石井隆治，床島亨典，林美幸（飯塚市立病院），葛原僚（良想夢デイサービスセンター）

座 長： 榎井剛士（健康リハビリテーション内田病院）

参加者： 発表7名，聴講：9名，その他：16名

3. 広報誌

筑豊OT TIMES 第11号 平成27年1月15日 発行

<その他>

地域ケア会議勉強会

日 時：平成27年1月8日（木）19:00～21:00

会 場：飯塚記念病院 グランドホール

内 容：地域包括ケアシステムについて
 講 師：榎井剛士（健康リハビリテーション内田病院）

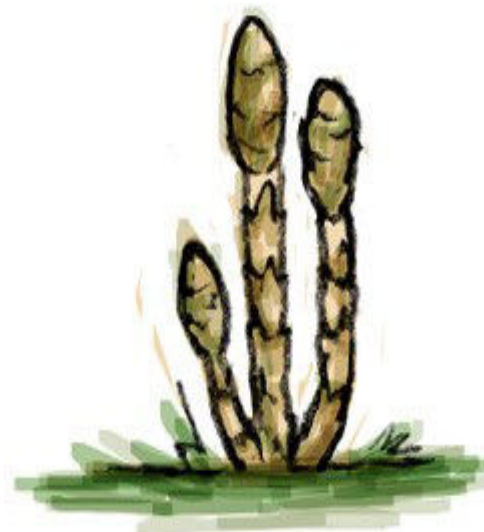
参加者：24名

筑豊ブロック懇親会（新年会）

日 時：平成26年2月21日（土）19:00～22:00

会 場：居酒屋 三拍子

参加者：22名



Occupation

医療法人福翠会 高山病院 矢野典子

はじめまして。直方市にある医療法人福翠会高山病院の矢野典子と申します。今回はこのような機会をいただきありがとうございます。

振り返ってみますと、私は当院に入職して20年目になることに気が付きました。途中、育児休暇も取得させていただいたので実績は多少少なくなるのですが、うう…、何をしてきたのだろうとちょっと不安になりました。まずは当院の紹介をさせていただきます。

当院は昭和41年に個人病院（精神科・神経科）として開院し、当初は80床でしたが現在では260床となり、内訳は精神一般病棟105床、精神療養病棟48床、認知症治療病棟57床、内科療養病棟50床です。併設施設は精神科デイケア（大規模）、重度認知症デイケア、精神障害者グループホームがあります。作業療法士は現在7名で精神科作業療法担当3名、認知症治療病棟担当1名、脳血管及び運動器疾患リハビリテーション担当1名（理学療法士1名と一緒に2名で担当）、精神科デイケア担当1名、重度認知症デイケア担当1名となっています。

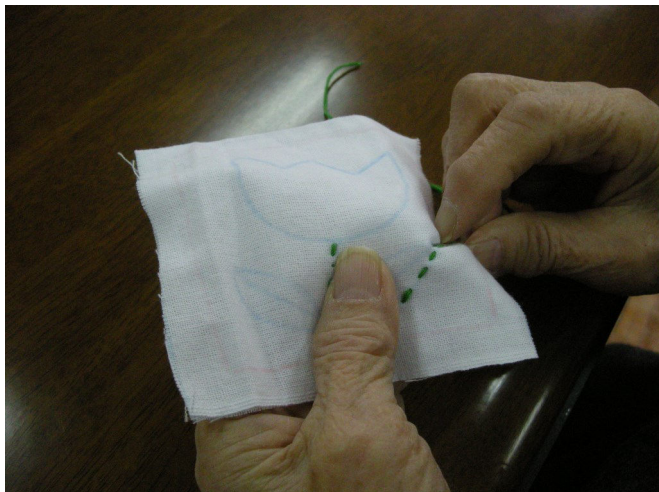
この中で私の担当部署は重度認知症デイケアです。ここでは6年目となりました。始めの頃はそれまでは精神科病棟中心の業務だったため、認知症について、そして認知症者への作業療法について再勉強しながらデイケアでやるべきことを考えていきました。そうしているうちに、当たり前のことですが認知症の人も健康的側面がたくさんあること、そしてそれまで生きてこられた人生があり、まだまだ若輩者の私には教わることがたくさんあることを改めて気づかされました。それから病棟との違いは、デイケアの方々は家庭で、社会で、生活を送られていること。認知症やその他の状況でありながらも日常生活を送ることができているのです。独居の方もあれば娘や息子、嫁や婿、妻や夫などご家族の支えがある方もありますが、ご本人の能力だけでない部分で維持できているのです。“老いる”ということ、心身ともに加齢に伴い衰えてきて昔できていたことができなくなっていき能力の低下を感じ、今まで培ってきた自分の安定した生活が徐々に不安になってくる。お世話していた側からお世話される側となってくる。そこに認知症が加わってくる。ご本人は自分の置かれている状況に不安を感じ、介護しているご家族はその状況に不満を感じてしまう。その大切な方（親御さんや配偶者）に昔の威厳に陰りがみえ尊敬の念が薄れてきたりし、もっとしっかりしてほしいのような叱責を与えてしまうこともあり、またそのことに罪悪感を抱いてしまうこともあり、手間暇だけでない介護負担を感じてしまう。介護される負担をご本人も感じてしまう、などなど…。

さてそのような中で私たちは何をしたらいいのでしょうか。

作業療法士としてその方の能力を評価し残存機能を生かしていけること、またActivityを媒介としてその人らしさを引き出し、意欲向上等が図れること、“作業をすることで元気になれる”のように…。

そして、ご本人が元気になれば周囲も元気になり、周囲が元気になればご本人も元気になるように思います。もちろん多職種との連携は必要ですが、デイケアではご家族の協力とご本人の意思がとても重要に思えます。デイケアでどんなにアプローチしてもその方の意欲とご家族のサポートがなければ社会生活は維持できません。ご家族間の関係性や事情は様々であり、職員側からの最善と思われる策も必ずしも適するとは限らず、押し付けにならないよう配慮する必要があります。もどかしい面もありますがあくまでもサポートであり職員主体ではないところがデイケアのキーポイントのように思います。入院治療のように24時間体制でケアするわけじゃないですからね！

長々となりましたが、これからも少しでも何かのお役にたてるように頑張っていきたいと思います。



リレーエッセイ

医療法人社団翠会 八幡厚生病院 藤川 悠子

OTになって、気づけば早15年が過ぎようとしています。私は広島にある呉リハという学校を卒業後、地元に戻って八幡厚生病院に就職しました。当院は北九州市で一番大きな精神科病院であり、今では私が就職した頃にはなかった地域生活支援センターや、精神科救急病棟などもできました。ちょうど一年前の春には新棟がオープンし、院内の体制も新たに皆で頑張っています。当院OT課は、平成27年度に3名の新人を迎え、総勢19名で和気藹々とやっています。といっても日々の業務はほとんど各配属部署にて行うため、他職種との関わりの方が大きくはありますが、一専門職として利用者の力になるよう、OT全体での研鑽も積んでいます。さて現在私は、精神科大規模デイケアに配属されて2年近くになり、慣れない管理職に追われつつも、日々利用者との関わりに力をもらい仕事をしています。これまで療養病棟、急性期病棟、慢性期一般病棟、内科合併症病棟、そして訪問看護ステーションとさまざまな部署を経験



してきましたが、その中で今感じているのは、いかに精神科ユーザーに対する支援が多様であり、難しいかということです。個々が求める支援をいかにキャッチし取り組んでいけるか、また治療に囚われ過ぎず、本人自身が病気と付き合い生きていく力を身につけるための関わりができるか。そのようなことを今の部署で考えています。一筋縄にはいかない複雑な状況や思いを持つ利用者達と向き合うには、相当のエネルギーが要りますが、その霧が晴れた時、共に見ることのできる景色や感慨深さを目の当たりにすると、OTはなかなかやめられないなと感じています。今後も皆さんと同じOTとして、また一個人として、日々気付きを大切に利用者に向き合っていきたいです。

やまびこ学園 佐藤 美奈

佐藤先生！バトンいただきます！

高校2年のある日の夕方、私に「はよお家に帰りないね」と同居の曾祖母からの言葉。“認知症”それが私と作業療法の出会いでした。宮崎の高千穂から北九州に来て10年目。なんだか節目の年にバトンを頂いた気がしています。

類似する施設での実習がきっかけで現在は心身に重度の障害を持って生まれ成人になられた方の入所施設で働いています。開設1977年、緑に囲まれ歴史ある施設です。OT2名、PT4名。約100名の利用者様がいらっしゃいます。利用者様は重度な障害からスムーズなコミュニケーションは難しいですが、嫌なものは嫌！好きなものは好き！全力でまっすぐに表情や仕草で伝えてくれます。利用者さんにとってリハビリをする理由を理解することは正直難しい方が殆どです。

だからこそ気がつけば体が、心が動いていたという状況が生まれるように！が日々の目標です。

自分がかかわる時間が利用者様の将来に繋がり、少しでも心地好いと感じてもらえたらと思います。パズルが上手にはめれて花が咲いた様に笑顔が出たり、膝枕すると手のストレッチしてくれたり、行きたくないと拒否があった方が手を繋ぎ「いこう！」と言わんばかりに逆に誘われたり…元気をもらうことが沢山です。

気が付けば6年目。

職場で任せてもらう事も増え、県協会のお手伝い等で考えを形にしていく嬉しさを感じさせてもらっています。北九州に来たからこそ出会えた方々に支えられ沢山話も聞いてもらい、飲みニケーションもあり贅沢な環境に感謝です！

自分が支えられ前に進んでいる様に人と人、人と環境、人と物をくっつけれる接着剤の様なOT（人）であればと思います。時には外してみたり…接着度の強弱が自由自在になるよう自分磨き頑張ります！

外に出たからこそ高千穂が好きと気付いた今日このごろです。PRではないですが高千穂はのんびりしていていいところですよ。ぜひ一度来てみてください。



あい愛田川訪問看護ステーション

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤
【給 与】 220,000円～250,000円
【賞 与】 年2回
【勤務時間】 8:30～17:30
【休 日】 土日祝, 8/13～15, 12/30～1/3
【福利厚生】 社会保険完備, 退職金制度有
【その他】 交通費, 住宅手当(規定有), 制服貸与, 車通勤可
試用期間3か月(労働条件同)
【備 考】 勤務地住所: 福岡県田川郡川崎町池尻
993-1あい愛田川訪問看護ステーション
【連絡先】 〒813-0042 福岡市東区舞松原1-8-19
TEL(092)663-5665/FAX(092)663-5664
あおば地域医療研究所(有)
担当: 清水

デイルームみなみかぜ

- 【募集職種】 作業療法士・理学療法士
【募集人員】 若干名(新卒可)
【雇用形態】 正社員(パート希望も可)
【給 与】 月額200,000～250,000円
【賞 与】 年2回(8月・12月)
【勤務時間】 8:30～17:30
【休 日】 4週8休, 年間104休
毎週日曜日は休, 1/1～1/3休
【福利厚生】 雇用 労災 健康 厚生
退職金制度あり
【その他】 交通費上限 月5,000円
住宅手当・扶養手当
【備 考】 定員32名のデイサービスでの勤務です
試用期間3か月(同一条件)
【連絡先】 〒839-1333 うきは市吉井町富永1864-2
電話 0943-75-9300
FAX 0943-75-9301
有限会社たんぼぼ 担当: PT荻野

在宅リハビリ訪問看護ステーション Re`sela

- 【募集職種】 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士
【募集人員】 各1名
【雇用形態】 正社員・パート
【給 与】 21万円～28万円/1,300円～1,700円
【賞 与】 昇給, 賞与は本人及び会社実績によります
【勤務時間】 8:30～17:30/パートは時間内1h以上
【休 日】 土日, 盆, 年末年始(年間休日113日)
【福利厚生】 雇用, 労災, 健康, 厚生
【その他】 交通費上限15,000円(マイカー通勤可)
【備 考】 平成27年5月オープニングスタッフ募集
福岡市内2ヶ所でリハビリ型短時間
デイを運営中
勤務地 福岡市東区香住ヶ丘2-48-5
福岡市中央区平尾2-5-16
【連絡先】 リハビリデイサービスRe`sela
福岡市東区香住ヶ丘2-48-5
TEL:092-410-2266
FAX:092-410-2267
担当 鎌田

独立行政法人 労働者健康福祉機構 総合せき損センター

- 【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 若干名
【雇用形態】 嘱託職員
【雇用期間】 6ヶ月毎の契約更新予定
(更新日: 4/1, 10/1)
【給 与】 時間給1,030円 ~ 経験年数考慮
【勤務時間】 8:30～17:15(月曜日～木曜日)
8:30～16:15(金曜日)
【休 日】 土日祝他
【福利厚生】 社保完備
【その他】 通勤手当支給
【連絡先】 〒820-8508
福岡県飯塚市伊岐須550-4
総合せき損センター
TEL 0948-24-7500
担当者名 総務課 赤間又は庄野

田代医院ディサービス生き生きホーム

【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1名
【雇用形態】 常勤（パート可）
【給 与】 時給1400～1600円
【勤務時間】 要相談
【休 日】 日曜、祝日
【福利厚生】 面談時説明
【備 考】 田代医院併設 ディサービス 生き生きホーム

【連絡先】 きらら薬局

直方市溝掘3丁目5番43号
TEL 0949-29-7500
FAX 0949-29-7501

担当 土田

田代医院

TEL 0949-22-3030
FAX 0949-28-1919

担当 松井

(社福) 北九州市福祉事業団 福祉用具プラザ北九州

(北九州市立介護実習・普及センター)

【募集職種】 作業療法士
【募集人員】 1～2名
【雇用形態】 嘱託職員／1年契約（更新あり）
【給 与】 月額 201,100円
【賞 与】 年2回（6月、12月）
【勤務時間】 8：45～17：30
【休 日】 土曜及び4週に4日指定・祝日・
年末年始
【福利厚生】 健康保険・厚生年金・雇用保険・労災
【その他】 通勤手当（月額上限55,000円）
年次休暇 10日付与（前年度繰越可）
【業務内容】 ・福祉用具の紹介、適合、
相談支援業務
・住宅改修に関する相談支援、
診断業務等
【連絡先】 北九州市小倉北区馬借1-7-1
☎ (093) 522-8721 担当 山本

一般財団法人医療・介護・教育研究財団 柳川病院

【募集職種】 作業療法士（1名）※経験 5年程度
理学療法士（1名）※新卒可
言語聴覚士（1名）※経験 5～10年程度

【雇用形態】 常勤

【給 与】 181,000円～221,000円
※経験年数による

【賞 与】 年2回（3.95ヵ月分）

【勤務時間】 ①8：30～17：15（休憩45分）
②8：30～12：30 ※土曜日

【休 日】 日曜、祝日他、夏期休暇（4日）、年末
年始休暇（12/30～1/3）

【保 険】 健康保険・厚生年金保険・雇用保険・
労災保険

【その他】 住居手当・通勤手当 当院規程による

【備 考】 平成19年4月より県立柳川病院が民間
移譲により、一般財団法人 医療・介
護・教育研究財団の運営となりました。

【連絡先】

住所：福岡県柳川市筑紫町29
電話：0944-72-6171
FAX：0944-72-2092

担当者 総務課 井手

さくら
猫
電車



会員動向調査

調査期間 (2014. 9. 12~2015. 1. 13)

福岡県作業療法協会 会員数2,683名(正会員2,434 自宅会員249名)

<入会>

瀧上 舞夏	北九州総合病院	: 2014年9月	坂下 美佑紀	福岡和白病院	: 2014年10月
中屋敷 俊典	北九州総合病院	: 2014年10月	河部 綾子	早良病院	: 2014年11月
花田 真美	北九州安倍山公園病院	: 2014年9月	仮屋園 広人	白十字病院	: 2014年11月
川上 いぶき	北九州安倍山公園病院	: 2014年10月	山口 文子	たたらリハビリテーション病院	: 2014年12月
吉田 勇氣	北九州中央病院	: 2014年11月	徳重 義和	有限会社 アクトリハビリ	: 2014年12月
谷崎 恵里	福岡新水巻病院	: 2014年9月	有田 優介	デイサービス であいの絆	: 2014年12月
御木 大地	福岡新水巻病院	: 2014年10月	森 健一	老人保健施設 木の葉の里	: 2014年9月
吹上 美咲	新小文字病院	: 2014年9月	江夏 浩亮	嘉麻良創夢デイサービスセンター	: 2014年5月
中尾 麻衣	大平メディカルケア病院	: 2014年10月	石井 隆治	飯塚市立病院	: 2014年9月
今吉 福美	おかがき病院	: 2014年10月	床島 享典	飯塚市立病院	: 2014年9月
渡邊 由貴	介護老人保健施設 松恒園	: 2014年11月	大賀 愛美	麻生飯塚病院	: 2014年9月
八木 哲平	門司掖済会病院	: 2014年11月	都甲 亜弥	麻生飯塚病院	: 2014年9月
宮尾 京介	介護老人保健施設 ほうらい山荘	: 2014年11月	原口 翔悟	麻生飯塚病院	: 2014年10月
栗田 康弘	介護老人保健施設 ほうらい山荘	: 2014年11月	津留崎 航	健康リハビリテーション内田病院	: 2014年10月
畑中 麻那	住田病院	: 2014年12月	筒井 亜衣	聖マリア病院	: 2014年5月
漆山 修司	さわやか新門司館	: 2014年11月	牧原 早紀	聖マリア病院	: 2014年8月
日高 慶人	福岡リハビリテーション専門学校	: 2014年11月	佐藤 加奈	聖マリア病院	: 2014年9月
内山 園子	香椎原病院	: 2014年9月	森山 茉実	聖マリア病院	: 2014年9月
大津 泰寛	福岡リハビリテーション病院	: 2014年9月	龍 咲希	聖マリア病院	: 2014年10月
槌野 ありさ	香椎丘リハビリテーション病院	: 2014年8月	大坪 秀明	聖マリア病院	: 2014年10月
岩田 美沙	香椎丘リハビリテーション病院	: 2014年9月	横田 浩輝	聖マリア病院	: 2014年10月
山本 美乃梨	香椎丘リハビリテーション病院	: 2014年10月	尾花 郁子	松岡病院	: 2014年9月
竹本 みひろ	誠愛リハビリテーション病院	: 2014年8月	三浦 衣里子	松岡病院	: 2014年10月
広瀬 正吾	誠愛リハビリテーション病院	: 2014年9月	中園 憲二	松岡病院	: 2014年10月
近藤 和美	誠愛リハビリテーション病院	: 2014年10月	田川 佳奈	久留米リハビリテーション病院	: 2014年5月
古場 友貴	誠愛リハビリテーション病院	: 2014年11月	石井 都萌	久留米リハビリテーション病院	: 2014年5月
笹原 恵理	誠愛リハビリテーション病院	: 2014年11月	小川 麻衣	白川病院	: 2014年8月
志賀 瑞紀	桜十字福岡病院	: 2014年8月	吉野 千春	久留米大学医療センター	: 2014年9月
鈴木 聡	桜十字福岡病院	: 2014年8月	鹿子 供宏	高木病院	: 2014年10月
島本 かおる	桜十字福岡病院	: 2014年11月	辻 香名	高木病院	: 2014年10月
平江 真	なごみクリニック	: 2014年9月	川口 照悟	高木病院	: 2014年11月
拾雄 美登里	寺沢病院	: 2014年9月	国生 彩	柳川療育センター	: 2014年9月
石貫 優	福西会南病院	: 2014年10月	樫本 紗也加	柳川リハビリテーション病院	: 2014年9月
森川 志帆	福西会南病院	: 2014年12月	勝本 真生	柳川リハビリテーション病院	: 2014年10月
			野田 優佳	柳川リハビリテーション病院	: 2014年12月
			宮原 景子	柳川リハビリテーション病院	: 2014年12月
			緒方 剛	甲斐病院	: 2014年10月
			甲木 慎也	柳川すぎ病院	: 2014年10月

中島 恵 介護保健施設 サンダイヤル
: 2014年11月
田中 明菜 神代病院 : 2014年10月
恒松 伴典 神代病院 : 2014年12月
合屋 奈美 聖ヨゼフ園 : 2014年12月
細田 由佳 聖ヨゼフ園 : 2014年12月
田代 明里 こぐま福祉会 : 2014年11月
田村 由美 筑水会病院 : 2014年12月
是松 丈晴 株式会社 Like Lab : 2014年12月

< 県内移動 >

壇 拓真 大手町病院 : 2014年4月
(大手町リハビリテーション病院より)
坂口 祐一郎 介護老人保健施設 博愛苑
: 2014年9月
(自宅より)
衛藤 まき 松井病院 : 2014年10月
(介護老人保健施設 エメロード三萩野より)
宮岡 秀子 特別養護老人ホーム こくらの郷
: 2014年10月
(小倉リハビリテーション病院より)
古賀 雅子 箱田病院 : 2014年4月
(堀川病院より)
船越 美紀 自宅 : 2014年11月
(浅木病院より)
福田 将信 デイサービスセンター リハビリ
モール : 2014年8月
(大川病院より)
・田 幸子 桜十字福岡病院 : 2014年9月
(新吉塚病院より)
今川 賢美 たたらリハビリテーション病院
: 2014年10月
(千鳥橋病院より)
香月 祐哉 たたらリハビリテーション病院
: 2014年10月
(千鳥橋病院より)
野口 健太 千鳥橋病院 : 2014年10月
(たたらリハビリテーション病院より)
有田 裕一 福岡保養院 : 2014年11月
(河野粕屋病院より)
水田 幸平 古賀病院21 : 2014年4月
(新古賀病院より)
福岡 里幸 訪問看護ステーション セント
ポーリア : 2014年5月
(大牟田共立病院より)
松石 治 おおかわ訪問看護ステーション
: 2014年8月
(柳川リハビリテーション病院より)
中村 かおり 大牟田市立病院 : 2014年9月
(安本病院より)
鹿毛 由貴子 自宅 : 2014年9月
(古賀病院21より)
高山 和規 就労支援事業所 大地

: 2014年11月
(就労継続支援A型 ディアスポラより)

< 退会者 >

高木 絵未 : 2014年8月
仲松 克 : 2014年9月
山口 紀子 : 2014年9月
曾山 裕子 : 2014年9月
鷹野 有希 : 2014年9月
堺 千春 : 2014年9月
吉田 みのり : 2014年10月
石元 佑里絵 : 2014年10月
川原 徹也 : 2014年10月
森 志帆 : 2014年10月
中村 依古 : 2014年11月
星野 由来 : 2014年11月
楠 耕太郎 : 2014年12月
久保 かおる : 2014年12月
藤原 友来 : 2014年12月
境田 美代子 : 2014年12月
江崎 繁 : 2014年12月
原 千津子 : 2014年12月

* 会員の皆様へ *

これまで、会員の皆様の異動状況を会報にて報告してまいりましたが、「事務所へ報告はするが、会報への掲載は望まない」という要望もごございます。

異動等の報告の際、会報への掲載を希望されない場合は所定の用紙(異動届等)にその旨ご記入ください。

体に合った車いす・目的に合った車いす
をご提供します
車いす・介護用品・福祉用具レンタル

本社/福岡市中央区天神 5-4-15
営業本部/糟屋郡粕屋町仲原3丁目 9-20
TEL/092-938-2208
HP/http://www.takisyoikai.co.jp



タキ商会

異動の際の手続きについて

職場・自宅等の変更のあった方は、必ず文書で
県協会事務局へご連絡下さい。

協会ホームページ(<http://www.fuku-ot.org/>)
へアクセスし、入会・異動・退会の項から届出用
紙をダウンロードして下さい。

用紙に異動前・後の施設名、郵便番号、住所、電
話番号を明記して下さい。自宅住所の変更もお忘
れなくお願いします。

ご不明な点は、福岡県作業療法協会事務所までお
問い合わせ下さい。

TEL 093-952-7587

編集後記

はじめまして。福岡リハビリテーション病院の
許山（のみやま）と申します。今年度より福岡県
作業療法協会会報の編集責任者となりました。

年4回発行される会報は広報部に所属する3つの
病院のスタッフで編集しています。今年度の広報
部は11名のスタッフで活動していきます。会報に
は理事会の報告や各部・委員会からの報告など、
各地域で行われている活動や福岡県内の作業療法
士の発展のための情報が数多く掲載されていま
す。また、作業療法士の想いをつなぐリーエッ
セイはホームページにも掲載されます。順番が
回ってきたときには作業療法士の魅力をぜひ伝え
てください。

広報部では会員のみなさんが手にとって読みた
くなるような会報作りを目指します。よろしくお
願いします。

（許山）

